

平成28年 雇用保険料率の変更 (未確定)の設定

<はじめに>

◎この更新処理を行う前に現在のデータ保護の為、必ずバックアップ処理を行ってください。

◎平成28年3月時点では雇用保険料率引き下げの法案は可決していません。引き下げが確定した場合当処理を行ってください。

<雇用保険料率の更新を行う前に>

事業所マスタの雇用保険料率は労働保険欄と雇用保険欄の2箇所存在します。

労働保険欄は年度更新処理の確定料率に使用します。よって28年4月改定前の料率(一般なら13.50)が入っているのが正しい状態です。

雇用保険欄は給与計算に使用します。ここに入っている料率で雇用保険料が計算されます。

事業所・事業主	社会保険	労働保険・他	賃金計算	部門・明細	
労働保険					
コード	基幹番号	枝番号	業種	労災率	雇用率
001	11111111112	009	9464	3.000	13.500
成立日	委託開始日	出向者の人数(受)			
廃止日	委託解除日	一人親方用整理番			
廃止理由	解除理由				
<input type="button" value="劳保新規"/> <input type="button" value="劳保変更"/> <input type="button" value="劳保削除"/> <input type="button" value="番号参照"/> <input type="button" value="特別加入"/> <input type="button" value="高齢"/>					
雇用保険					
加入区分	加入	適用日	その他		
事業所番号	種類	一般	法人成立日		
全体料率	13.500	内被保険者	賞与支給月	0	
事業開始日	事業設置日	5.000	昇給予定月	0	

労働保険欄の料率は年度更新処理の確定保険料率に使用します。

雇用保険欄の料率は給与計算処理に使用します。ここに入っている料率で雇用保険料が計算されます。

<年度更新処理に関わる雇用保険料率の変更>

<処理内容及び処理手順>

保険料申告書(事業所)の概算料率が正しく読み込まれるように以下の処理を行います。当処理は即行なっていただいても給与計算等に影響ありません。

- ① メインメニュー→**税額表**→**保険料率**を押します。
- ② 保険料率料額表の設定
 保険料率料額表を最新の状態にします。
 メインメニューより**税額表**→**保険料率**を押します。
 「00000028：平成27年09月改定後料率」を選択して、**決定**を押します。

現行料率ページの雇用保険料率の一般(納入保険料率)が13.50/1000になっている事を確認します。次に改定料率ページを開き、雇用保険料率を以下のように手入力で変更します。

雇用保険料率	一般	11.00/1000	4.00/1000
	その他	13.00/1000	5.00/1000
	建設等	14.00/1000	5.00/1000

現行料率画面に戻り「戻る」を押します。

「データを保存しますか？」と表示されたら「はい」を押します。

<給与計算に関わる料率の変更>

<処理内容及び処理手順>

新しい料率で給与計算を行えるようにします。

以下の処理は平成28年4月改定料率で給与計算処理をする直前に行ってください。

一般的に4月分(当月支払いの事業所は4月支払い分、翌月支払いの事業所は5月支払い分)の給与計算処理の前に行うことになります。

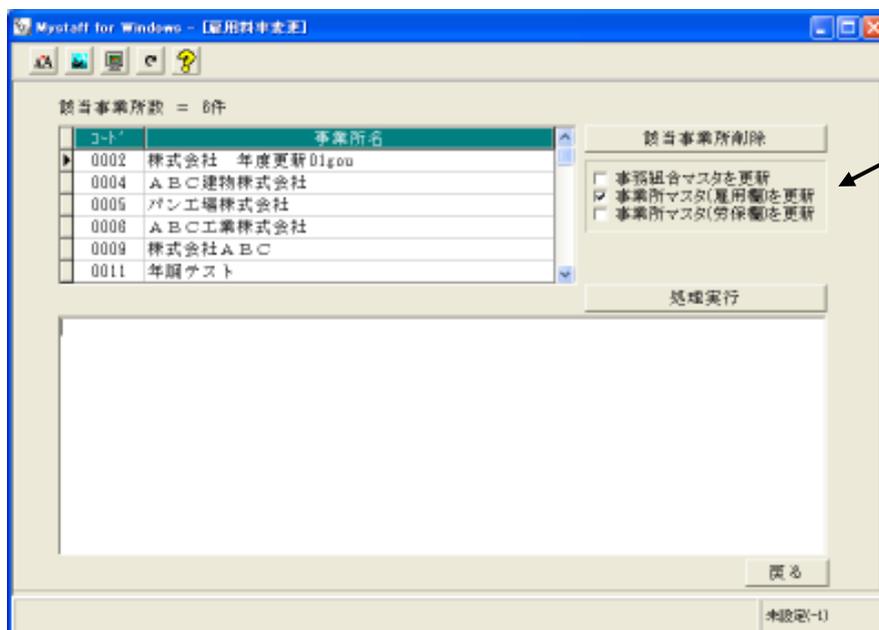
- ① メインメニュー→「マスタ」→「マスタ更新」→「雇用料率変更」を押します。
- ② 雇用保険料率を自動更新したい事業所に○印を付けて「事業所決定」を押します。○印はコード欄の左の空欄をクリックすると付けたり消したりする事ができます。全ての事業所に○印をつけたい場合は画面上部の「○範囲」をご使用ください。
- ③ 事業の種類のカテゴリ結果が表示されます。「決定」を押します。
- ④ 料率が下図のようになっているか確認し、「決定」を押します。

現行料率・改定料率を設定してください。

	労保欄(年更使用)		雇用欄(給与使用)	
	全体	内率	全体	内率
一般	13.500	5.000	11.000	4.000
その他	15.500	6.000	13.000	5.000
建設	16.500	6.000	14.000	5.000

決定 取消

以下の図が表示されます。



チェックは『事業所マスタ(雇用欄)を更新』のみに

『事業所マスタ(雇用欄)を更新』のみにチェックが入った状態にしてから「**処理実行**」を押します。処理終了のメッセージが表示されたら「**戻る**」を押して、データを保存します。

⑤事業所マスタを開きます。

料率が下図(種類が一般の場合)のようになっているか確認してください。

The screenshot shows two software screens. The top screen is titled '労働保険' (Labor Insurance) and contains a table with the following data:

コード	基幹番号	枝番号	業種	労災率	雇用率	
001	1111111112	009	両継委	9464	3.000	13.500

Below the table are fields for '成立日', '廃止日', '廃止理由', '委託開始日', '委託解除日', '解除理由', and '出向者の人数(受)'. Buttons at the bottom include '劳保新規', '劳保変更', '劳保削除', '番号参照', '特別加入', and '高齢'.

The bottom screen is titled '雇用保険' (Employment Insurance) and has sections for '加入区分', '事業所番号', '全体料率', '事業開始日', and 'その他'. The '全体料率' field is set to 11.000 and the '種類' dropdown is set to '一般'. The 'その他' section includes '法人成立日', '賞与支給月', and '算給予定月'.

Two callout boxes provide additional information:

- The first callout points to the '雇用率' field in the table, stating: '年度更新処理の確定保険料率に使用するので13.500のまま。' (Use the confirmed insurance rate for the annual update processing, so it remains 13.500.)
- The second callout points to the '全体料率' field, stating: '給与計算処理に使用します。新しい料率で給与計算したい場合は11.000/4.000になります。' (Use for payroll processing. If you want to calculate payroll with the new rate, it will be 11.000/4.000.)